

# BER測定機能 簡易手順書

## (MG3710A-021 / MG3710E-021 / MG3740A-021)

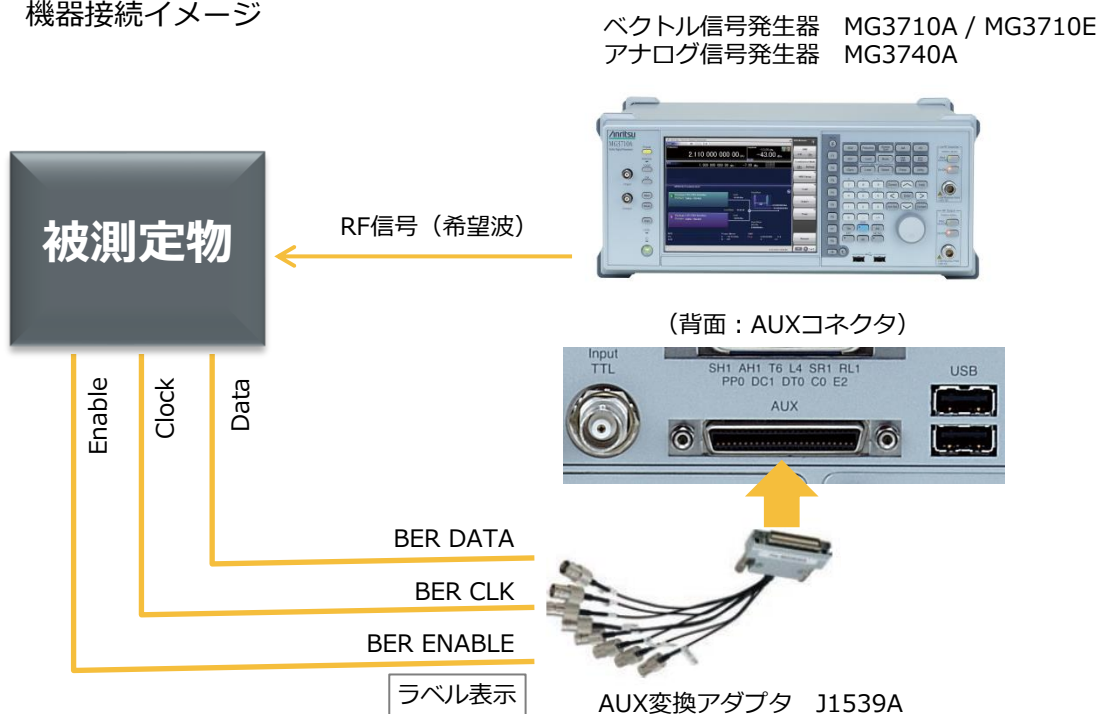
ベクトル信号発生器 MG3710A / MG3710E  
アナログ信号発生器 MG3740A

本書は、ベクトル信号発生器 MG3710A / MG3710Eおよびアナログ信号発生器 MG3740A（デジタル変調オプション付き）のBER測定機能オプションの操作の概要をご紹介します。実際の測定では、被測定物となる無線機器の仕様に合わせて各設定を調整してご利用ください。

詳細な機能/設定範囲/操作などについて、下記の取扱説明書をご覧ください。

**MG3710A/MG3710E ベクトル信号発生器 MG3740A アナログ信号発生器 取扱説明書**  
第8章 BER測定

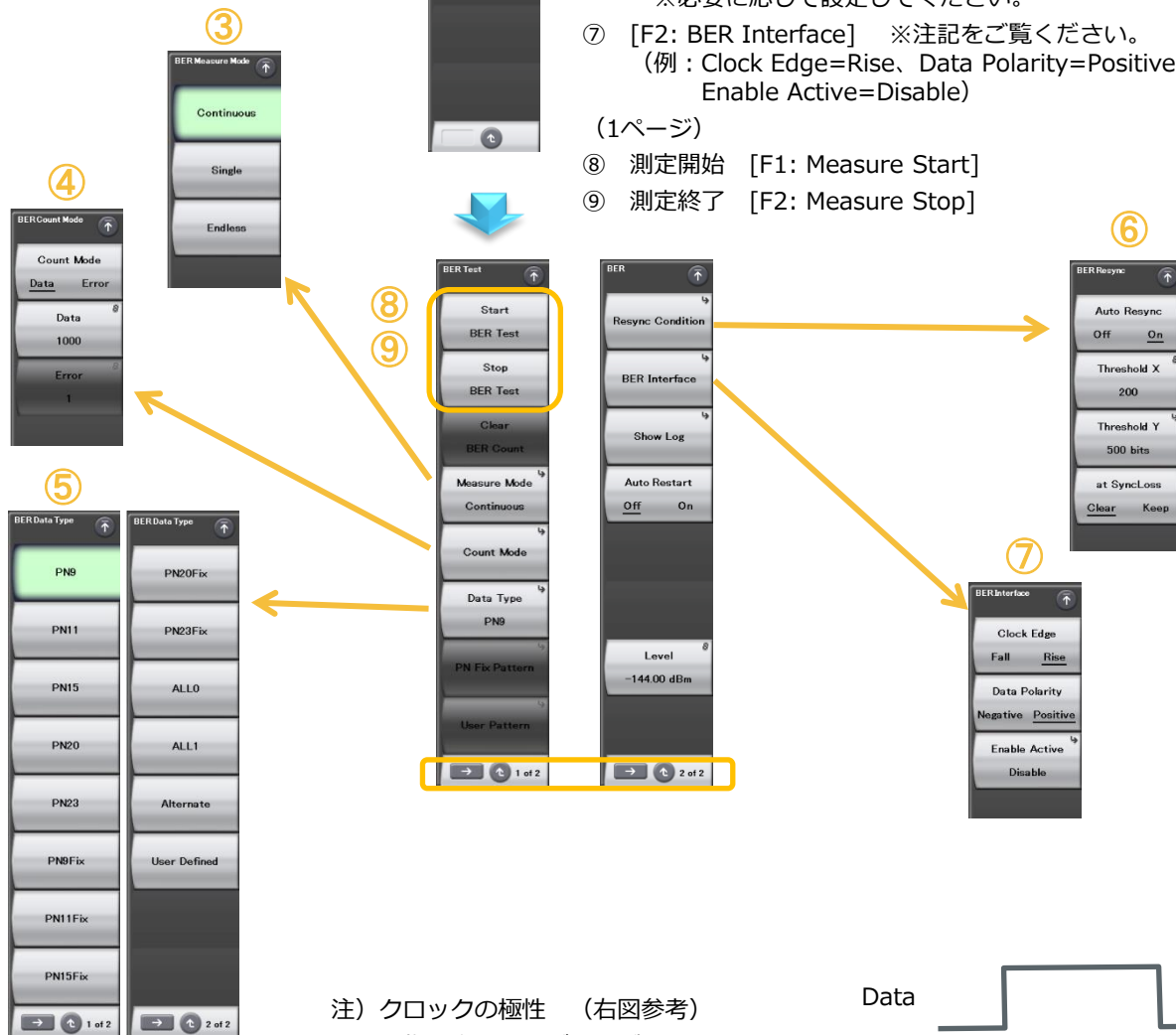
### □ BER測定 機器接続イメージ





【操作手順】

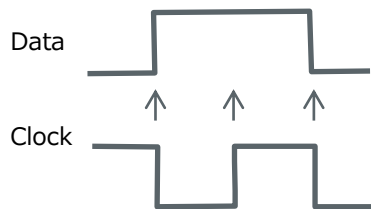
- ① [Aux Fctn]
- ② [F2: BER]  
(1ページ)
- ③ [F4: Measure Mode] を選択 (例: Continuous)
- ④ [F5: Count Mode] を選択 (例: Data、1000 bit)  
※設定したデータビット数ごとにBER結果を表示します。
- ⑤ [F6: Data Type] を選択 (例: PN9)  
(2ページ)
- ⑥ [F1: Resync Condition]  
(例: Auto Resync = On、Threshold X=200 bits、Threshold Y=500 bits、at Sync Loss=Clear)  
※必要に応じて設定してください。
- ⑦ [F2: BER Interface] ※注記をご覧ください。  
(例: Clock Edge=Rise、Data Polarity=Positive、Enable Active=Disable)  
(1ページ)
- ⑧ 測定開始 [F1: Measure Start]
- ⑨ 測定終了 [F2: Measure Stop]



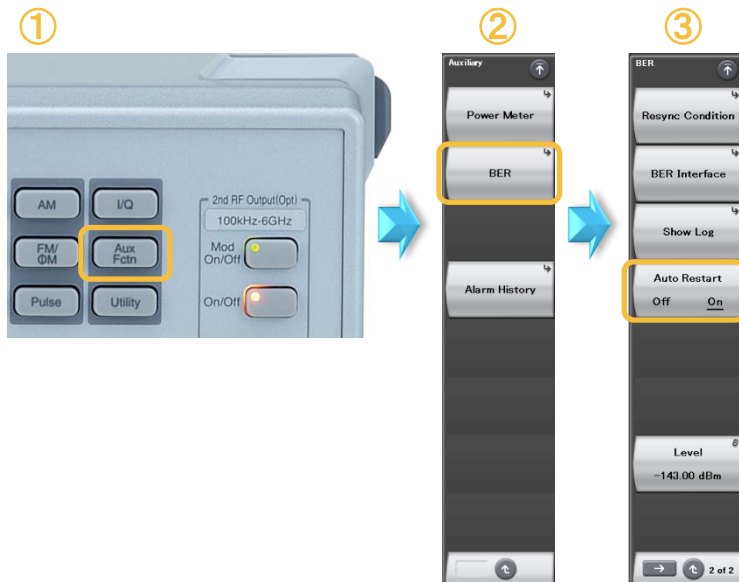
注) クロックの極性 (右図参考)

被測定物で復調したデータがクロックの **Fall** に同期して出力されている場合、BER測定では **Rise** でカウントします。

被測定物から出力されるデータとクロックをオシロスコープで確認してご利用ください。



# 便利な機能① : Auto Restart



## 【操作手順】

- ① [Aux Fctn]
- ② [F2: BER]  
(2ページ)
- ③ [F4: Auto Restart] = On

Auto Restart = Onの場合、信号発生器の出力レベルを変えた際に、BER測定の結果表示を自動的にクリアして再度測定を開始します。

レベルとBERの画面を切り替える手間を省きます。

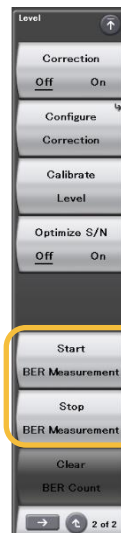
# 便利な機能② : BER&レベル ボタン配置

## BER測定機能 (2ページ)



レベル設定

## レベル設定機能 (2ページ)



BER測定開始

BER測定終了

BER測定機能の2ページ目には、レベル設定のボタンが配置されています。一方、レベル設定の2ページ目には、BER測定開始/終了のボタンが配置されています。

信号発生器の出力レベルを変えながらBER測定する際に、画面を切り替える手間を省きます。